



ドミニカ共和国 (Dominican Republic)

- ドミニカ共和国への援助総額は2014年までに累計909億円。
- 日本人移住者がドミニカ共和国の農業の発展に大きく貢献。
- 2015年に派遣30周年を迎えた青年海外協力隊は、保健、教育、村落開発等様々な分野において人的貢献を継続して実施。
- ドミニカ共和国は世界で唯一14年連続で内閣府国際青年育成交流事業の対象国に選ばれており、両国の若者の交流が活発化。



国概要

(基礎データ)

- ・面積：48,442平方キロメートル(九州に高知県を加えた広さ)
- ・人口：1,050万人(2015年, 世銀)
- ・首都：サントドミンゴ(首都圏人口約370万人)
- ・民族：スペインとアフリカ系の混血が73%
(他に欧州系, アフリカ系等)
- ・言語：スペイン語
- ・宗教：カトリック
- ・政体：立憲共和制
- ・議会：上・下二院制(上院32議席, 下院190議席)
- ・GDP：671.9億ドル(2015年, 中銀)
- ・一人あたりGNI：5,950ドル(2014年, 世銀)
- ・経済成長率：7.0%(2015年, 中銀)
- ・失業率：14.0%(2015年, 中銀)

※特に注がない場合は外務省ホームページをもとに記載。

(略史)

1492年	コロンブスがエスパニューラ島に到着
1697年	リスウィック条約により島西側が仏領
1795年	仏西戦争により全島が仏領
1822年	ハイチによる支配開始
1844年	ハイチから独立
1861年	スペインに併合
1865年	スペインから独立
1916年	米国による軍事統治開始(～1924年)
1930年	トルヒーリョ独裁政権の発足
1965年	内政勃発による米国軍事介入
1966年	大統領選挙によりバラゲーテル政権発足
2012年	メディーナ大統領就任

援助実績

スキーム	額(累計)／人数(延べ)
円借款	315.80億円 (2014年度末時点)
無償資金協力	266.35億円 (2014年度末時点)
技術協力	327.06億円 (2014年度末時点)
青年海外協力隊	延べ604人 (2016年6月時点で31人)
シニア海外ボランティア	延べ240人 (2016年6月時点で6人)
日系社会青年ボランティア	延べ58人 (2016年6月時点で6人)
日系社会シニアボランティア	延べ17人 (2016年6月時点で1人)

出典：ODA国別データブック2015
青年海外協力隊事務局統計(平成28年6月末)
(注)青年海外協力隊には、短期派遣ボランティアを含む。

ドミニカ共和国への主要ODA供与国 (2013年, 出典: OECD/DAC, 支出総額ベース)

国名	百万ドル
1 米国	50.86
2 フランス	27.92
3 スペイン	19.71
4 日本	10.10
5 韓国	3.94

経済関係

スキーム	金額／人数(直近年)
日本からドミニカ共和国への輸出	288.15億円(2015年, 財務省) (世界から同国への輸出全体の約1.7%)
ドミニカ共和国から日本への輸出	95.73億円(2015年, 財務省) (同国から世界への輸出全体の約1.0%)
日本からの直接投資	約38.8万ドル(2016年, ドミニカ(共)中銀) (2005年から2015年の累計約324万ドル)
在ドミニカ共和国日系企業数	11社(2015年10月, 外務省)
日本企業現地法人の雇用数	1,522人 (2016年6月時点, 在ドミニカ日本国大使館)
ドミニカ共和国における日本車の登録台数	56万5761台 (2016年1月時点, ドミニカ(共)税務局) (全登録車の73.2%)

人的つながり

項目	人数(直近年)
ドミニカ共和国における在留邦人数	793人(2015年10月時点, 外務省)
在日ドミニカ共和国人数	477人(2015年末時点, 外務省)
ドミニカ共和国から日本への留学生数	81名 (2016年時点在ドミニカ日本国大使館)
日本からドミニカ共和国への観光客数	1,766人 (2015年の入国者数, ドミニカ(共)中銀)
ドミニカ共和国から日本への観光客数	1,862人 (2015年の入国者数, 法務省)

日本とドミニカ共和国との協力年表

年代	案件
1934年11月	外交関係樹立(41年中断, 52年再開)
1956年	日本人の移住開始
1956年	JICA事務所の開設
1957年	査証相互免除取極
1964年	技術協力の開始
1980年	円借款「地方電気通信網整備計画」(33.91億円) (ドミニカ共和国への初の円借款)
1985年	青年海外協力隊派遣取極
1983年	円借款「アグリポ地域農業開発計画」(88.25億円)
1990年	一般無償資金協力「消化器疾患センター建設計画」(14.13億円)
1991年	水産無償資金協力「沿岸漁業開発計画」(3.88億円)
1992年	一般文化無償資金協力「コロンブス記念灯台博物館に対する歴史教育機材」(4,700万円)
1993年	円借款「アグリポ地域農業開発計画(Ⅱ)」(90.13億円)
1996年	内閣府国際青年育成交流事業による交流の開始
2006年	日本人移住50周年
2011年	東日本大震災の発生:ドミニカ共和国国会が日本国民への連帯決議を表明
2010-2013年	日本, ドミニカ共和国, ハイチの三角協力「対ハイチ農業技術研修コース」(3年間)
2010-2013年	広島大学とサントドミンゴ自治大学の学術交流(教育, 環境, 工学, 農業の4分野)(3年間)
2014-2016年	中小企業ノン・プロジェクト無償資金協力:リハビリ機材, 気象観測機材等(6億円)
2015年	日・中米交流年
2016年3月	日本方式普及ノン・プロジェクト無償資金協力「次世代自動車パッケージ」(5億円)
2015年	青年海外協力隊派遣30周年

日本人移住者は、ドミニカ共和国の農業の発展に大きく貢献。稲の改良に成功した日本人移住者の名を冠した「タニオカ米」という米がある。



大規模な灌漑施設の整備により、米の生産量及び自給率が飛躍的に向上。



ドミニカ共和国民から「日本人の病院」と呼ばれ親しまれている。



ドミニカ共和国は2003年から14年連続で対象国に選ばれている。2015年までに210名の日本青年がドミニカ共和国を訪問し、166名のドミニカ共和国青年が日本を訪問。



海外青年協力隊員の活動地においてリハビリ機材(写真上)及び気象観測機材(写真下)の引き渡し式。機材供与は協力隊員の円滑な活動にも貢献。



メディーナ大統領出席の下、大統領府にて日本のハイブリッド車129台を供与。

安倍総理とメディーナ大統領の首脳メッセージを交換(ナバラ外相と淵上大使)。

